

町内循環バス「ほっと号」のルートが一部変わります

病院への通院や温泉施設の利用などのため、町内を運行している循環バス「ほっと号」の運行ルートの一部が、8月1日から次のとおり変更となります。

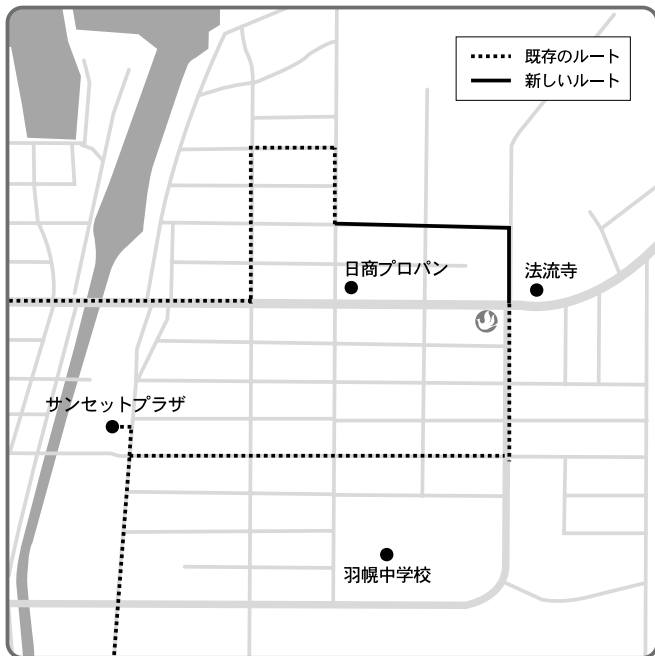


新しいルート

浜町方面と川北4丁目通りの間は、国道(北2丁目～北4丁目間)を通過していましたが、変更後は北2条通りを通過します。これにより、フリー乗降も可能です。



ほっと号では定期券もご利用になれます。有効期間は使用開始日から2カ月間で、金額は1,000円です。有効期間内に10回以上乗車する方はお得です。お求めは沿岸バスまで。



お問い合わせ 沿岸バス本社ターミナル ☎62-1550



案内役の寺沢孝毅さんからポイントを教わり双眼鏡を覗きます。(赤岩展望台)



めん羊牧場では集まっためん羊が同じ方向を向いています。知事にご挨拶です。



高橋はるみ北海道知事 「まちかど対話」 天売・焼尻訪問

地域の広聴活動のひとつとして実施されている高橋知事の「まちかど対話」が6月12日から13日間、留萌管内で開かれ、羽幌町では初日に天売・焼尻両島を訪問されました。

子ども達との交流

天売港に到着後、まず道立天売診療所を視察し、相原所長から離島医療の現状について説明を受けました。続いて天売小中学校を訪れ、子ども達から手作りパンフレットの紹介やクイズ形式で島の海産物の説明を受け、最後は知事への質問コーナーで交流を深めました。次に赤岩、観音崎両展望台に向かい、ウトウの巣穴やウミネコ繁殖地を視察されました。

島民各代表と懇談

焼尻へ移動後は、はじめに水産加工施設と直売所を視察し、ここを切り盛りする地元漁協女性部と交流。次に道立焼尻診療所を訪れ、貞本所長から天売同様、現状の報告を受け

ました。続いて、昼食を囲みながら漁業者や観光関係者、方面委員など各分野の代表との昼食懇談会が開催されました。懇談会では後継者不足や救急医療体制など、島が抱える諸問題や観光の振興などについて話し合われました。懇談会の後はオンコの自然林を散策し、オンコの荘を抜けると一面に広がるめん羊牧場を視察されました。海をバックに草原で戯れる羊の姿は、分刻みの日程に少しだけゆとりをくれたようでした。



天売港に到着後、診療所から視察のスタートです。舟橋町長も同行します。



天売小中学校を訪れました。山本校長から校舎の説明を受けました。



体育館で児童・生徒達から歓迎を受けた後、島の海産物の紹介がありました。



赤岩展望台を視察。背景には無数に開いたウトウの巣穴があります。



焼尻に渡り、水産加工所と直売所を訪問。漁協女性部との交流です。



焼尻では島民との昼食懇談会も開催。出席者からは貴重な意見や要望が。



昼食懇談会には各分野の代表の方々に出席していただきました。



焼尻の名所、オンコの荘を散策。地を這うように横に絡みあう枝が特徴。



天売小中学校での一コマ。児童達のリクエストに、CMでおなじみの「米チェン」